

令和7年度

食育だより 11月号

若桜町立学校給食センター

感謝の心を持って食べよう

食べることは、生き物の命をいただき、命をつないでいくことです。また、食事ができあがるまでに、料理を作る人をはじめ、米や野菜、家畜を育てる人、魚をとる人、食材を運ぶ人、販売する人など、たくさんの人が関わっています。感謝の気持ちを忘れずに、食事を大切にいただきましょう。

「いただきます」「ごちそうさま」に込める感謝の気持ち

日本では、食事の前に「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」のあいさつをする習慣があります。ふだん何気なく言っている言葉の意味を知り、心をこめてあいさつをしましょう。



いただきます

「いただく(頂く/戴く)」は、頭にのせるという意味があり、身分のたかひとものさいずじょうささ高い人から物をもらう際、頭上に捧げて敬意を表した動作にちなむ言葉です。自然の恵み、生き物の命をもらうことへの感謝を表します。



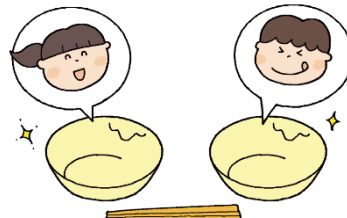
ごちそうさまでした

「ちそう(馳走)」は、食事を用意するために走り回ることを意味しており、この食事が出来上がるまでに関わった人びとへの感謝の気持ちが込められています。



いろいろな方法で感謝の気持ちを伝えよう！

食事を用意してくれた家族や調理員さんに直接あいさつや感想を伝えるのもいいですね。



残さずきれいに食べることも感謝の気持ちを表すことにつながります。

知っていますか？給食費

若桜町では児童生徒の給食費を町に全額補助していただいています。「給食費」は食材料費のことで、給食を作るための光熱費、施設費、人件費なども町の予算でまかなわれています。若桜町の子どもたちのために使われる町のお金でできた給食、食べ物を無駄にしないでしっかり食べて、栄養にしてほしいと願っています。

1食あたりの給食費(税込)
小学生 331円
中学生 381円

